

社会貢献型太陽光発電システム 大鵬エネルギー

元横綱 大鵬の遺志を継ぐ。



献血運搬車『大鵬号』復活に向けて。

大鵬さんは生前「若い頃、巡業で日本中を回りいろいろな人との出会いがあった。それが今日の私を支えてくれている。」と口癖のように言っておられました。当時（昭和44年）は売血から献血への移行時期で、献血された血液を患者の元へ届ける献血運搬車が全国で不足している事を知った大鵬さんが、「大鵬の名前で社会に恩返しをしたい」と立ち上がりました。そして、献血運搬車の寄贈台数は2009年を最後に合計70台まで達しました。しかし、全都道府県に行き渡った現役車両も現在では残り6台にまで減ってきております。



70台目の「大鵬号」贈呈式 2009年



遺志を継ぎ「大鵬号」寄贈を表明 2013.05.31

固定価格買取制度の下、売電収入の3.2%を「大鵬号」復活の為に、「大鵬号基金」へのご協力をお願いします。